

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・国語総合(古典)	学年	第1学年	教科書	精選国語総合(東京書籍)
		単位数	3単位	副教材	最新国語便覧(浜島書店) 体系古典文法(数研出版)・体系古典文法学習ノート(数研出版) 版)読んでみて覚える重要古文単語315(桐原書店)、漢文基本ノート(浜島書店)

学習目標 国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

- 学習方法
- 国語総合の授業は、現代文と古典(古文・漢文)に分かれているので、ノートは別々に用意する。
 - 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と意見を交換したり、発表したりする活動を行う。
 - 家庭学習における予習、復習の習慣を身に付ける。
 - 古典文法の教科書、国語便覧等の副教材を利用し、自ら調べ、学習をする。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	①	感心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。		
	②	話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。		
	③	書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを文章にまとめることができる。		
	④	読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むことができる。また文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえている。		
	⑤	知識・理解	我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係に気づき、言葉の特徴やきまり、表現の特色及び言語の役割などを理解し、知識を身に付けている。		

評価の観点	①感心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
授業への取り組み	○	○	○		
読書課題	○			○	
定期試験	○			○	○
単語テスト	○				○
話し合いへの取り組み	○	○			
観点別比重	15%	10%	10%	15%	50%

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	○古文入門	20	「児のそら寝」 古文学習のしるべ1 「検非違使忠明」 古文学習のしるべ2 「絵仏師良秀」 古文学習のしるべ3	<ul style="list-style-type: none"> ・易しい古文を読み、古典に親しむ。 ・歴史的仮名遣いに注意して音読し古文に慣れる。 ・現代の言葉と古語の違いを理解する。 ・説話に親しみ本文を音読する。 ・文法用語の概念を捉える。 ・各活用形の用法、はたらきを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ④心情の変化を読み取り、話のおもしろさを味わっている。 ⑤歴史的仮名遣いと古語について理解している。 ④出来事と登場人物の心情を読み取り、この話に対する当時の人々の受け取り方について考える。 ⑤古語の品詞と活用について理解し、古語辞典の引き方を知る。 ④良秀と人々のやりとりから、人物像をとらえている。 ④不思議な出来事の内容について読み取っている。 ⑤係り結びについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・定期試験 【中間試験】
	○漢文入門	19	訓読の基本 故事成語 「矛盾」 「推敲」	<ul style="list-style-type: none"> ・二字熟語を例に、漢文の基本的な構造を考える。 ・熟語をもとに、訓点(送り仮名・句読点・返り点)の知識を確認する。 ・説話の形式を意識して、教訓的な文章を創作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤漢文の基本的な構造を理解し、訓点の知識を身に付けている。 ⑥書き下し文のきまりと置き字の用法及び訓点について理解している。 ②考えを深め、自分なりに根拠を明確にして話すと共に、相手の意見を的確に聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・定期試験 ・ノート提出 【期末試験】
2学期	○随筆『徒然草』	15	「城陸奥守夜泰盛は」 「丹波に出雲といふ所あり」 「今日はそのことをなさんと思へど」	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の基本について確認する。 ・人物の行動と心情に注意しながら本文を読み取る。 ・説話の形式を意識して、教訓的な文章を創作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤助動詞の基礎的知識を身に付けている。 ④人間の姿に焦点を当て、本文に描かれた人物の心情を読み取っている。 ③相手に伝わることを意識して、説話の型を参考にした文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・定期試験
	○寓話	10	「借虎威」 「漁夫之利」 「塞翁馬」	<ul style="list-style-type: none"> ・句法を確認し、訓読し、書き下し文をつくる。 ・漢文の中の漢字を用い、二字熟語を考え本文を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ④句法について確認し、訓点に従って正確に訓読するとともに、書き下し及び現代語訳することができる。 ②考えを深め、自分なりに根拠を明確にして話すと共に、相手の意見を的確に聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・定期試験 【中間試験】
	○物語『伊勢物語』	10	「芥川」 「東下り」 「筒井筒」	<ul style="list-style-type: none"> ・この話の男と女の境遇と、起きた出来事、その時の人物の心情を読み取る。 ・女、男、それぞれの立場になっての手紙・日記を書き発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ④ストーリーの展開を把握し、男と女の境遇と出来事を読み取っている。 ③相手に伝わる文章はどのようなものかを考えながら工夫して書くことができる。 ②目的や場に応じて、効果的に話すことができる。また相手の心情を察し、ことばや表現に注意して聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・定期試験 ・日記・手紙 ・ノート提出 【期末試験】

3 学 期	○紀行 『土佐日記』	5	「馬のはなむけ」 「帰京」	1和歌を詠むに至った経緯と心情、および和歌の内容を読み取る。 2日記文学について調べ、グループごとに選んだテーマについて新聞にまとめ発表する。	④作者の心情がどのようなことばや表現に出ているかを読み取っている。 ②調べた内容を効果的にわかりやすく説明することができる。 ③見やすい見出しや構成を考え、調べた内容を整理して書くことができる。	・観察 ・ワークシート ・定期試験
	○唐詩	5	唐詩一十首	・漢詩の形式や、きまりを知る。 ・漢詩に込められた心情や、その社会的な背景を理解する。	④作者の心情を読み取り、内容を理解し鑑賞することができる。 ⑤漢詩の形式や、押韻、対句などについて理解している。	・観察 ・ワークシート ・定期試験
	○軍記物語 『平家物語』	10	「木曾の最期」	・軍記物語の文体や特徴を理解し、場に応じた音読をする。 ・戦いの推移とそれぞれの場面での義仲、兼平及び巴の心情を読み取る。	④戦の推移と、義仲・兼平・巴の心情を読み取っている。また、義仲と兼平の死の描かれ方について、読み味わっている。 ⑤古語や文法、表現について理解し、軍記物語の特徴を把握している。	・観察 ・ワークシート ・定期試験
	○和歌	5	「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	・古語や和歌の修辭について確認しながら読む。 ・和歌の内容を物語にして書き換える。	④それぞれの和歌の的確な読み方を意識し、内容を味わいながら読んでいる。 ③創作した内容を構成や表現に注意して書いている。 ⑤和歌の修辭について理解している。	・観察 ・ワークシート ・定期試験
	○史話	6	「臥薪嘗胆」	・故事におけるキーワードに注目し、故事成語の意味を理解する。 ・登場人物の発言から、その心情を理解する。	④登場人物の行動から心情を読み取り、的確に本文の内容を理解している。 ⑤句法や返り点、漢字について理解している。	・観察 ・ワークシート ・定期試験 ・ノート提出 【期末試験】
合計時数(50分授業)		105				